



## ■そりゃ、子どもを泣かせるわけには、いかんけえね!!

上のタイトルは、稲刈りの時に地域の方が話された言葉です。今年、ウンカの発生による被害がニュースで取り上げられましたが、油谷小学校の学校田は、何とか稲穂を実らせることができました。これは、安倍さんをはじめ営農組合の方々が、農薬を与える時期と回数をよく考えて手分けして散布してくださったおかげです。地域の方の熱い思いに感謝です。

バケツ稲… 9月24日(木) 稲刈り  
 10月 1日(木) 脱穀  
 学校田 … 9月23日(水) 稲刈り  
 10月 5日(月) 脱穀

上記の通り稲刈りと脱穀を行いました。すべての活動は、地域の方の力があればこそ実施できるものばかりです。子どもたちは、地域の方の協力に感謝するとともに、活動を通して、お米の大切さや機械の便利さを感じることができたようです。

以下は子どもたちの感想です。

### 【5年生の感想】

- ・僕は初めてすることばかりでよくわからなかったけど、地域の方に教えてもらってだんだん分かるようになりました。
- ・地域の方が来てくれたおかげでコツも分かったのすごくよかったです。
- ・地域の方のおかげでこういう行事ができるし、人との関わりの勉強にもなりました。
- ・ただ話をずっと聞いているより、いい学習の仕方になりました。
- ・今は機械などがあって便利だけど、昔の人は手作業でやっていたのすごいいいと思いました。体験して分かったので感謝したいです。安全にすることができて良かったです。
- ・また新しいことにチャレンジしたいことがあったら、地域の方と一緒に経験したいです。
- ・お米の大切さがよく分かりました。「落ち穂だけでもお茶碗の何杯分にもなる」と言われました。江戸時代の農民は(お米のかわりに)ヒエやアワで我慢してきました。タイ・ミャンマー・カンボジアもそのようになっていると聞いて、米の大切さがよく分かりました。
- ・私は、田植え・稲刈り・脱穀を全部経験できて、恵まれていると思います。カンボジアなどの人たちの苦勞、昔の人たちの苦勞を考えさせてくれました。
- ・ライスパーティーとかの時は絶対来てほしい。地域の方が来たらもっとおいしく感じるから。(みんなで食べるとおいしい)

【バケツ稲】



【学校田】

